

事業報告書

第1 令和6年度事業の概要

保有農地の売却及び貸付事業として、能登開発地及び河北潟干拓農地において、経営規模拡大を志向する農家や新規就農者への売却を進めるとともに、一時貸付による有効活用を図った。

畜産振興事業では、受託放牧事業として、辰口及び富来の2放牧場において、乳用・肉用牛の子牛を農家から預かり育成し、人工授精を行って受胎させた後に返す育成事業を実施したほか、富来放牧場では、生後間もない子牛を預かる哺育事業を併せて実施し、農家の子牛育成に係る負担の軽減を図った。また、内浦駐在所では、県農林総合研究センター畜産試験場能登畜産センターの草地及び家畜飼養管理業務を受託し、能登牛の生産振興の一助を担った。

1 保有農地の売却及び貸付事業

(1) 農用地売却事業 0円（対前年比増減なし）

(2) 農用地貸付事業 20,738,430円（対前年比 1,829,050円 の減）

公社保有地 308.7ha（能登開発地 61.5ha、河北潟干拓地 247.2ha）のうち、能登開発地 28.0ha、河北潟干拓農地 243.7haをそれぞれ担い手農家に貸付けた。

また、河北潟干拓農地において、1.8ha（159区画）をふれあい農園として一般県民に貸付けた。

区 分	貸 対 象 者	付 数	筆 数	面 積	金 額	摘 要
能登開発地	件 8 (2)	筆 28 (2)	ha 28.0 (1.4)	円 66,270 【▲660,480】	災害による 貸付料減免	
河北潟干拓農地	135	356	245.5	20,672,160 【▲1,168,570】		
	普通畑	30	339	197.0	16,978,130 【▲1,404,680】	
	飼料畑	1	7	44.0	2,861,172 【264,101】	
	施設用地	3	7	2.7	258,858 【9】	
	計	34 (4)	353 (8)	243.7 (4.7)	20,098,160 【▲1,140,570】	
	ふれあい農園	101	3	1.8	574,000 【▲28,000】	94%利用
合計	143 (6)	384 (10)	273.5 (6.1)	20,738,430 【▲1,829,050】		

（ ）は売買予約契約による貸付， 【 】 対前年比増減

2 畜産振興事業

(1) 受託放牧事業 106,222,077円（前年比 4,717,773円 の減）

畜産農家の経営の安定・合理化を支援するため、876頭の受託育成を実施したほか、312頭の受託哺育を行った。

区 分	事 業 量				金 額
	受託頭数	(頭)	年間延頭数	(頭)	
育成	876	(44)	149,669	(▲ 542)	円
辰口放牧場	221	(33)	70,670	(▲ 3,819)	88,193,343
新規	196	(11)			(574,053)
富来放牧場	235	(44)	78,999	(3,277)	
新規	224	(▲ 44)			
哺育	312	(▲ 61)	37,074	(▲ 8,744)	18,028,734
富来放牧場	103	(▲ 23)	37,074	(▲ 8,744)	(▲ 5,291,826)
新規	209	(▲ 38)			
合 計	1,188	(▲ 17)	186,743	(▲ 9,286)	106,222,077
					(▲ 4,717,773)

()は対前年比増減

(2) 放牧場機械整備事業 5,753,000円（前年比 1,174,800円 の減）

受託放牧事業を円滑に実施するために必要な農業機械の更新を行った。

区分	整備機械	事業費
富来放牧場	ロールベアラー	円
		5,753,000
合 計	計 1 件	5,753,000

(3) 内浦駐在所管理運営事業 36,204,094円（前年比 2,712,745円 の増）

内浦駐在所において、県畜産試験場能登畜産センターの草地及び家畜飼養管理業務を県から受託した。

(4) 放牧場災害復旧工事費 7,930,780円

能登半島地震で被災した富来放牧場施設の応急復旧に必要な工事等を実施した。